条例の制定・改正

柔道整復にかかる窓口払いの改善
福祉3医療費📖支給制度の充実へ

Q この条例制定に至る背景と実際の手続は。

A 令和7年10月に埼玉県柔道整復師会東松山支部からの要望があり、対応の検討をしてきました。受給者の負担感の軽減や利便性の向上が期待されることから方向性を決定し、町内11の施術所について意向を確認してきました。受給者による新たな手続の必要はありませんが、初診時に委任状の記入が必要になります。


整骨院での治療は長期間に及ぶことも。現金を持たずに通院できるので助かります

Q 町民が近隣の市町で治療を受ける場合については。

A 寄居町・ときがわ町・吉見町・滑川町・嵐山町は行っています。東松山市は検討中です。

指定管理者の指定

小川・おがわ西・八和田学童クラブの運営
保護者の負担軽減へ

Q シダックス大新東ヒューマンサービス(株)の選定において、どのような提案内容を評価したのか。

A 選定委員会において、職員の人材育成や充実した研修体制、職員の継続雇用や労働環境の整備を重視し、職員の定着率向上等の安定した雇用体制などを評価しました。

Q 小学校の再編と並行し、令和11年度には学童クラブが2施設に集約される。学童クラブ全体の町の財政負担の見込みは。

A 学童クラブの指定管理化は、保護者負担の軽減が期待できるので計画的に進めてきました。将来的な事業費の見込みは、人件費や物価上昇が見込まれますが、施設の集約化により管理費の縮減につながるものと考えます。


思い出の「トンネル山」の跡地で着々と工事が進む小川小学校の前庭。年度内の完成が待ち遠しい小川学童保育室

令和8年度補正予算

教育委員会の先進地視察
確かな学力の育成のため秋田県へ

Q 教職員等先進地視察に56万円が計上された。その詳細は。

A 町では学力向上プロジェクトを推進し、確かな学力の育成に向けて授業改善と指導力向上に取り組んでいます。しかし、全国学力学習状況調査結果からは、学力向上や主体的な学びなど改善すべき課題があります。秋田県では学力向上の検証改善サイクルなど組織的継続的に取り組み、その施策や手法、教育委員会と学校が連携した支援体制について研修を深めます。今後、秋田県東成瀬村へ、小中学校の教員7人、校長1人、教育委員会2人計10人で視察します。

道の駅　桜の木の伐採

Q クビアカツヤカミキリにより被害のあった桜に薬剤を散布しても改善できなかったのか。また、伐採後の対応は。

A 桜の木の被害確認後、すぐに薬剤を注入し成虫が外部に出ないように網をかけました。専門業者に確認したところ改善は見られないことが判明し、落下や倒木等のおそれがあるため速やかに伐採をするものです。伐根は行わず、植え替えについては樹木の種類を含め検討します。

スクールバス乗降管理システム

Q システムの概要は。

A 車両にシステムを設置し、乗降時にICカードをかざすことで、運転士・保護者・学校が児童の乗降を確認でき、不安の解消につながります。また、乗車予定の児童が乗っていない場合にも確認ができます。

Q 次年度以降、システムの運営費や維持費はかかるのか。

A 環境構築、システム利用料とデータ整理等で年間60万円程度必要になります。


東小川地区からのバス通学。乗降のチェックが人からシステムへ

次ページは「一般質問」ほか

小川町議会だよりは 町民登場にコダワル！ 広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます。